

## ボルグワーナー、「HVH 146」の導入により 高電圧ヘアピン電気モーターシリーズを強化

- コンパクトなパッケージでピーク電力35 kWとトルク65 Nmを実現
- 効率と出力密度を高める精密に成形された配線方式を採用
- 2020年前半に生産開始予定

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic Lissalde)は、新たな高電圧ヘアピン(HVH)146モーターを導入し、電気モーター製品を強化します。2020年前半に主要なOEM向けに生産を開始し、ハイブリッド普通乗用車に搭載する予定です。この電気モーターは、ボルグワーナーの特許取得済みの多用途HVHシリーズに加えられ、モーターアッセンブリまたはローター/ステータアッセンブリとして提供されます。デザインが柔軟なHVHシリーズのモーターは、多様なコンフィギュレーションと、スケーラブルな出力およびトルクを実現します。

永久磁石内蔵型電気モーターであるHVH 146は、ハイブリッド車(HEV)において、従来のオルタネーターが配置されるP0位置でのベルト駆動組み込みに最適です。エンジン前部に取り付けられ、高張力ベルトシステムを通じて高出力および最高回転数16,500 rpmでの稼働を可能にします。ストップ/スタート装置として使用するほかに、ブレーキ時やコースト時のバッテリーパックの回生充電にも使用できます。また、HVH 146電気モーターは、ピークトルク65 Nm、ピーク効率95%を実現し、クリーンな補助動力で走行距離も向上させます。ピーク電力35 kWとピークトルク65 Nmを実現する一方で、重量はわずか14 kgで、パワーウェイトレシオは従来のオルタネーターの2倍超を達成します。

OEMを対象に高機能ソリューションとして開発されたこのモーターは、容易に統合できるように設計されています。高圧/低圧コネクター及び冷却クーラン用コネクタートを備えるコンパクトなパッケージが特長です。HVHシリーズは、従来の丸線に代わり、精密に成形された平角線と複数の層から成るインターロック型「ヘアピン」を使用しています。この独自の配線方法とワイヤのサイズによって、モーターの出力密度および効率が向上します。また、水冷方式によって出力密度はさらに増大します。

ボルグワーナーの HVH 146 は、まずはハイブリッド普通乗用車向けに発売されますが、商用車市場でも使用できます。さらに、特定の要件に適合するよう特注し、P0 の他にハイブリッド車全体のさまざまな位置で使用することが可能です。

ボルグワーナー・パワードライブシステムズの社長兼事業本部長であるステファン・デメール (Stefan Demmerle) は、「クリーンで高効率な推進システムのリーダーとして、当社は業界をリードする出力およびトルク密度を提供するパワフルな電気モーターの包括的なポートフォリオを構築し続けています。お客様は、ボルグワーナーの HVH 146 を導入することによって、高度かつ高効率で環境に配慮した技術のニーズをはじめとする消費者のニーズと政府の規制を同時に満たすことが可能になります」と述べています。

### ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 19 カ国 68 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 30,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。



ボルグワーナーの新たな高電圧ヘアピン (HVH) 146 モーター

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国民事訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「狙い」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手 OEM 顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レート、与信枠、重要な管理への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近の Form 10-K/A 年次報告書に記載したリスク要因など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、佐藤  
TEL:03-3571-5326 FAX:03-3574-0316  
EMAIL : borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp